

美甘章子(みかもあきこ) 父の被爆体験を 米国高校などで講演

2015年3月2日、美甘章子(みかもあきこ)が米国カリフォルニア州ゲイブリエリーノ高校とジェファーソン中学校で広島への原爆投下と被爆者についての講演を行いました。高校では約600名、中学校では約1200名が聴講し、学校区の先生方も交えてディスカッションを行いました。

この講演は2014年6月末、貿易研修センター主催の海外教育者招聘プログラムで広島を訪れたウィルソン小学校ジャンーン・マックギガン校長が、被爆者の美甘進示・章子父娘の講演に深く感動し、学生、教育者、一般市民に広く知らしめたいと計画したものです。

それぞれの講演で学生、教育者、一般市民の計1800名近い人たちの多くが、「今まで聞いたことのない被爆者の直接体験について詳しく聴き、人間性と平和のための許す心に感動した。これからも学んでいきたい。」と感想を述べました。(参加者の感想は次ページに掲載)

中学校と高校では今後、歴史とヒューマニティーの教育の一環として美甘の著書「8時15分」(原題 Rising from the Ashes)の内容を授業に取り入れていくようです。

アメリカの教育現場や地域社会が積極的に被爆体験についての講演者を招くというのは、あまり例のないことです。ヒロシマからの声を直接知っていただく貴重な機会になりました。



<お問い合わせ先>

- 一般社団法人 フォーギブネス フロム ヒロシマ 担当:西田
〒151-0071 東京都渋谷区本町3丁目22-1
HP: <http://815book.org/>
TEL: 03-5309-2904 Eメールアドレス: info@815book.org

【講演参加者の感想】

講演をした高校の校長：

『8時15分』を昨日までに一気に読み大変感動しました。私は社会科の教員だったので、今歴史の授業を受け持っていたら、この副読本を授業にどれだけ有効に取り入れることができるか考えただけで、授業現場にもどりたくてしょうがない程です。

学区内の教員：

被害者も許す心を持つことにより、前向きになれるということが実例を知って理解できたが、自分はどうのように被爆者の許しを請えばよいのか教えて欲しい。

中学教頭：

これだけ大勢の生徒達(11歳から13歳)が、ごそごそせず、食い入るように講演を聴いているのを見てとてもうれしかった。何百人もの生徒が一斉にこのように振舞うのはなかなかない。貴重なお話を聴かせていただいて、生徒達にも教員にもとてもよい学習の機会となった。

学生たち：

講演の途中、美甘進示の被爆体験の苦悩の場面では、ほとんどの生徒達が共感を表情や思わず漏れる声で示し、時計の盗難発覚後の進示の言葉、「失うものがある、得るものがある」を聴いて、高校生は会場のシアターに響き渡る感嘆の声をあげ、中学校では大喝采・大声援で会場の体育館がエコーで揺れるのではないかというぐらいだった。

シニアの方々(学校訪問のあと、シニア施設も訪問しました)：

嫌悪の感情をむき出しにされた婦人が一人だけいらっしゃいましたが、他の同年代のシニアの方たち全員が、「いいえ、今こその話を聴かなければいけないのよ。章子さんのお父様の姿勢は本当に素晴らしい。それを私達に話してくれ、平和へのメッセージを世界に広めようとしている貴方の活動はとても有意義なことで、世界の平和のためには必要なこと。良く私達に話をしに来てくれた。ありがとう。」と異口同音に言うてくださった。「8時15分」の英語版を購入してくださいました。

ユダヤ系アメリカ人のシニアの方：

この本を既に購入して読みかけていたけど、被爆体験の描写が自分の戦争体験を思い出させて、辛くて読み進めなかった。でも、貴方の話を聴いて、この本のメッセージはとてもポジティブだということがわかったので、今から読み直します。

【美甘章子 略歴】

被爆した両親の次女として広島市で生まれる。広島大学教育学部卒業後、高校の英語科講師などを経て1989年に渡米。多様な現場で臨床心理と薬物中毒治療の経験を積み、1995年よりカリフォルニア州で臨床心理ドクターとして開業。US-Japan Psychological Services 代表として数多くの患者やクライアントの心理療法、精神鑑定、組織コンサルテーション、エグゼクティブ・コーチング、スポーツメンタルコーチング等に従事する。

2010年より、非営利団体「サンディエゴ・ウィッシュ〜世界平和を願う会」の代表として例年広島と長崎の原爆祈念日(8月)に全米一の軍港都市であるサンディエゴにおいて「平和とヒューマニティーの日」を行い、次世代の平和のための教育と啓蒙活動を行う。

2013年英文でRising from the Ashesを著す。2014年前出の著書の日本語版「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」を出版し、広島本大賞にノミネートされる。

2014年11月、世界平和と繁栄のための国内外の類稀な貢献に対する賞を英国で受賞。